

令和7年10月17日
9:00～
Teams

庁 議 事 項

① 令和8年度予算編成方針について

【企画財政部】

② 第35回埼玉県産業教育フェアの開催について

【教育局】

令和8年度予算編成方針

1 未来を築く、歴史的課題への挑戦

- ・「人口減少、超少子高齢社会」と「頻発化・激甚化する災害、危機への対応」の2つの歴史的課題に敢然と立ち向かい、埼玉の未来を着実に築くため、時代の変化を捉えた中長期的な施策を実行

2 「日本一暮らしやすい埼玉」5か年計画の総仕上げ

- ・あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会の実現のため、各分野で持続的な発展を可能とする施策を推進
- ・最終年度を迎える5か年計画の施策についてPDCAサイクルに基づく検証・改善により3つの将来像の実現に向けた取組を推進

3 時代の変化に対応した不断の行財政改革の推進

- ・DXの推進により、デジタルを前提に仕事のやり方をTXの手法を活用して根本から見直し、県庁業務の生産性を高めるとともに、県民サービス向上の取組を深化
- ・EBPMに基づく事業レビューにより、事業の新陳代謝を促進させ、より効果的な事業に限られた財源と人材を重点的に活用
- ・将来を見据えた基金残高の確保及び県債残高の適正な管理
- ・物価高騰等の社会情勢の変化にも適切に対応

※現時点の収支見込み（一般財源ベース） 要調整額 Δ 1, 558億円

予算編成に向けたこれまでの取組と予算要求に当たっての視点

これまでの主な取組

新規・重点施策

- 4つのテーマ（①人口減少・超少子高齢社会への対応、②激甚化・頻発化する災害やパンデミック等、様々な危機への対応、③「持続的な成長を確かなものにする」ための戦略的な対応、④5か年計画の総仕上げ）を対象
 - 提案された全ての事業について知事との意見交換を実施、事業の有効性を踏まえ判定
- ➔**新規採択：74事業**

事業レビュー（評価方式）

- EBPMの観点から、事業の必要性・有効性（ロジックモデル・アウトカム）を評価
 - 対象事業のうち、県民や事業関係者に影響が大きい事業については、埼玉県施策評価有識者会議を開催、有識者からの意見を踏まえ、評価
- ➔**自主的廃止を含む見直し：115事業**

予算要求に当たっての視点

- デジタルを前提に従来の仕事のやり方を根本から見直し、業務効率を高めるとともに、県民サービスを向上させるため、DXを更に推進
- EBPMに基づき、事業の新陳代謝を促進させることで、より効果的な事業に限られた財源と人材を重点的に活用
- 物価高騰を踏まえ、適正な労務単価や資材価格を反映

第35回埼玉県産業教育フェアの開催について

農業・工業・商業・家庭・看護・福祉を学ぶ高校生による

体験型イベントや学習成果物の販売を実施します

北部
地区

10月 4日(土)
イオン熊谷店 ※実施済み



東部
地区

10月25日(土)
イオンレイクタウン



西部
地区

11月 1日(土)
丸広百貨店川越店



南部
地区

11月15日(土)
イオンモール浦和美園店



※各会場 10時～16時

第35回埼玉県産業教育フェアの開催について

体験型イベントの一例


- ・ 所沢商業高校 プログラミングによるドローン操作
- ・ 川口工業高校 VR鉄塔のぼりを体験してみよう

学習成果物の販売の一例

- ・ 岩槻商業高校 生徒が商品開発した和菓子
- ・ 杉戸農業高校 クッキー・野菜等

その他イベント

- ・ 専門高校クイズなど



プログラミング教育に取り組む
所沢商業高校

高校生がプログラミングの講師となって
小・中学生がドローンを動かす体験イベントを実施